





● A ブロック優勝の酒井根Bチーム↑  
● B ブロック優勝の酒井根Aチーム↓



★ バレーボール部  
部長 高谷一恵  
昨年度に引き続き、部長をつとめさせていただいている高谷でございます。

毎週火曜日と、水曜日の午前九時から午後三時まで、二チーム単位で二時間づつ回り回体館を利用させていただき、暇を利用しての運動委員長はじめ、体育部長並びにセンターの職員の方々のご指導と、部内役員並びに各チームの運営によりまして、五月十七日、十八日の両日にわたりて行なわれました春季部内大会が

成功裡に行なわれましたことを、まつもって感謝申し上げます。  
私たちの所属するバレーボール部には、十二チームございまして部員数は百七十名程おります。

毎週火曜日と、水曜日の午前九時から午後三時まで、二チーム単位で二時間づつ回り回体館を利用させていただき、暇を利用しての運動委員長はじめ、体育部長並びにセンターの職員の方々のご指導と、部内役員並びに各チームの運営によりまして、五月十七日、十八日の両日にわたりて行なわれました春季部内大会が

センターの開館と同時に発足しました。市民のかたがたがたで多くの活動をしてまいりましたが、そろそろマンネリ化が気になりました。そこで本年度は次のこと注意をほらいながら文化部の運営にあたりたいと考えます。まず第一に組織的なことです。近隣センターは複合的な施設であるため、いろ

## 文化部から提案

# 複合的組織の多面運用をベースにした文化活動を――

文化部長 塚田 裕也

いろんな組織がセンターの運営に関与する仕組になっています。例えば講師をまねいて市民のかたがたに話をしてもう催しも、文化部が行なうばかりではなく、市役所のどこの部局が行なうこともできますし、公民館が行なうこともできます。

近隣センターで、同じような催しが重複して開催されてしまうことがあります。市民のかたがたのご要望は多種多様ですから、それに応じて行くためには、できるだけ重複をさけて行くようにしなければなりません。そのため本年度は、センターの運営に関与する各

組織とともに、本年度は、センターの運営に関与する各

の三種の催しを行いたいと考えています。

① 教室

教室というのは、料理とか茶道とか手芸というように、市民のご要望の多い種目に三十名程度の受講生を集め、講師を招聘してやることになります。この解説のためにセンターを利用する者に広く呼びかけて話し合いをする機会をこしらえたいと思います。

② 文化祭

十月一日(土)と十月二日(日)の二日間、文化祭を開催します。

一般の市民のかたや学校のご協力をえて、書道・絵画・手芸その他

の作品を出品していただきまして行います。十月二日は敬老会とかなり、お年寄りのかたがたに見えていただけです。

また増尾近隣センター独特のものとして有名になってきた茶道があります。

かたがたのご意見をうかがってから決めたいと思います。

③ 囲碁将棋大会

一月頃の休日の一日を使って囲碁と将棋の大会を行います。ハン

デをもつけますので、力の差があるかたがたの同志でも楽しく参加できます。上位三者には記念の盾を贈ります。昼食をたべ、お茶を飲みながらの楽しい一日です。

## 福祉部だより

### 発刺ますます盛んゲートボール大会

柏老連士支部春季ゲートボール大会は、去る六月十二日、増尾西小学校三面を使用して行われました。

参加チームは、二十四チームで熱戦の末、緑寿会Aチームが優勝、ミドリ裏局寄贈のカップが勝利に花を添えました。入賞三位までのチームは左記の通りです。

優勝——緑寿会(A)チーム

準優勝——増尾長寿会

三位——名戸ケ谷クラブ

二位——藤心寿クラブ

一位——増尾長寿会

ムが市大会予選に出場します。

三位——名戸ケ谷クラブ

二位——藤心寿クラブ

一位——増尾長寿会

ムが市大会予選に出場します。

二位——藤心寿クラブ

一位——増尾長寿会

ムが市大会予選に出場します。

三位——名戸ケ谷クラブ

二位——藤心寿クラブ

一位——増尾長寿会

ムが市大会予選に出場します。

</